



〈本郷キャンパス〉
学校法人文京学園
文京学院大学外国語学部・経営学部・
人間学部・保健医療技術学部／大学院
／文京学院大学生涯学習センター
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-4-1
☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉
文京学院大学人間学部・保健医療技術学部
／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806

〈駒込キャンパス〉
文京学院大学女子高等学校／文京学院
大学女子中学校
〒113-8667 東京都文京区本駒込 6-18-3
☎03-3946-5301

大学

「まちラボ本郷お披露目会」
期待を担って

「まちラボ本郷お披露目会」が5月27日、本郷キャンパスで行われ、学内外の関係者約80名が一堂に会しました。

「まちラボ」は「まちづくり研究センター」の略称で、本学の建学の精神「自立と共生」に基づく、共生社会の構築を目指す「実験空間」です。これは、本学人間学部コミュニケーション社会科学の基盤となる教育理念を備えた「教育・研究・民」の体制で主体的に運営を、学生が一産・官・学・民の体制で主体的に



古市センター長の挨拶



歓談する来場者

「まちラボ」は「まちづくり研究センター」の略称で、本学の建学の精神「自立と共生」に基づく、共生社会の構築を目指す「実験空間」です。これは、本学人間学部コミュニケーション社会科学の基盤となる教育理念を備えた「教育・研究・民」の体制で主体的に運営を、学生が一産・官・学・民の体制で主体的に

「まちラボ」は「まちづくり研究センター」の略称で、本学の建学の精神「自立と共生」に基づく、共生社会の構築を目指す「実験空間」です。これは、本学人間学部コミュニケーション社会科学の基盤となる教育理念を備えた「教育・研究・民」の体制で主体的に運営を、学生が一産・官・学・民の体制で主体的に

「まちラボ」は「まちづくり研究センター」の略称で、本学の建学の精神「自立と共生」に基づく、共生社会の構築を目指す「実験空間」です。これは、本学人間学部コミュニケーション社会科学の基盤となる教育理念を備えた「教育・研究・民」の体制で主体的に運営を、学生が一産・官・学・民の体制で主体的に

「まちラボ」は「まちづくり研究センター」の略称で、本学の建学の精神「自立と共生」に基づく、共生社会の構築を目指す「実験空間」です。これは、本学人間学部コミュニケーション社会科学の基盤となる教育理念を備えた「教育・研究・民」の体制で主体的に運営を、学生が一産・官・学・民の体制で主体的に

高校

理数キャリアコースの増本さん
トライアングルの研究で
注目される

1年次より「トライアングルの叩き方と音色に関する課題研究」を継続している理数キャリアコースの増本雛乃さん（3歳）が、各方面から注目されています。



つくばScience Edge 2019で「優秀な研究」に選出

中高生を対象にしたサイエンスアイデアコンテスト「つくばScience Edge 2019」が3月22・23日、つくば国際会議場で行われ、増本さんは「優秀な研究」としてサテライトプレゼンテーションに選出され、多くの来場者の前で発表しました。

研究が参考文献に掲載

増本さんは、昨年の秋に高校生として初めて「音楽音響研究会」で研究内容を公式に発表しました。同研究会は、一般社団法人日本音響学会に属する8つの研究委員会の中の1つで、同学会は科学的な方法を用いて音の性質や作用について研究する研究者団体です。

ここでの発表論文が、北海道大学情報科学研究院メディアネットワーク部門情報メディア学分野の青木直史助教の目に止まり、増本さんの研究から着想を得た青木助教の研究「トライアングルの音色のコンピューター上での再現」の発表に際して、増本さんの研究が参考文献として引用されました。

青木助教が7月に参加する学会へ投稿する論文においても、増本さんの研究が参考文献として掲載される予定です。

研究紹介動画 全国配信

科学技術分野における教育、人材育成、研究、創業に関する企画・研究・コンサルティング業務などを行う株式会社リパネスの依頼により、増本さんは「サイエンスキャスルTVプログラム」へ参加。同プログラムは、サイエンスの魅力、研究の楽しさを中高生に伝えるもので、増本さんのトライアングルに関する研究動画が全国の中高生に向けてYouTube上で公開されました。

増本さんは、次のように想いを語りました。「トライアングルの研究を通じて、実験をする楽しさや、人に分かりやすく伝える発表のやり方など多くのことを学びました。今まで様々なところで発表をして賞を頂きましたが、これは研究指導担当の岩川暢澄先生や外部の方々、そして共同研究の仲間たちのおかげなので、とても感謝しています」

高校

カラーガード部
「全国大会」出場決定！

6月9日、彩の国くまがやドーム体育館で行われた「関東カラーガードコンテスト2019」で「金賞」を受賞した本校カラーガード部。その高度な技術力・演技力をもって6月28日、エスフォルタアリーナ八王子で行われた「全国高等学校ダンスドリル選手権大会2019関東大会」のツールフラッグ部門に出場し、1位通過で「全国大会」への切符を手に入れました。生徒たちは8月10日(土)・11日(日)、「丸善インテックアリーナ大阪」で行われる「全国大会」で再び高難度で華麗な演技に挑戦します。



大学

11・2名が「留学プログラム」にチャレンジ

語学習得のための環境が整った本学で、教職員の細やかなサポートのもと語学力を上げた学生たちが、この夏様々な国へ留学し、異文化の中でさらに勉学に励みます。学生たちがチャレンジするのは、次のプログラムです。

- ★【短期留学プログラム】マレーシア・マラエラ大学3名★中国・北京語言大学7名★アメリカ・CSUモントレーベイキャンパス1名
- ★【海外短期フィールドワーク】カナダ・ブロック大学10名
- ★【長期語学留学プログラム】オーストラリア...
- ★【交換留学プログラム】アメリカ・セントジョンス/セントペネディクト大学6名★ブルガリア・ヴェリコタルノヴォ大学1名★中国・北京語言大学5名
- ★【GCI語学・異文化理解留学プログラム】中国・23名★マレーシア・19名★タイ・17名
- ★【海外短期フィールドワーク】カナダ・ブロック大学10名



人間学部心理学 学科長
教授・GCIセンター長
小林剛史

今年度よりGCIセンター長を拝命しました、小林剛史と申します。よろしくお願いいたします。

今年度よりGCIセンター長を拝命しました、小林剛史と申します。よろしくお願いいたします。

小林剛史

「専門性プラスグローバル」を目指して

Green Spirits

今年度よりGCIセンター長を拝命しました、小林剛史と申します。よろしくお願いいたします。

今年度よりGCIセンター長を拝命しました、小林剛史と申します。よろしくお願いいたします。

大学 「中津川リレーマラソン」で本学学生活躍

「第4回清流木曾川 中津川リレーマラソン大会」が5月26日、岐阜県中津川市の中津川公園で行われました。これは、チームでタスキを繋ぎながらフルマラソン（1周約2.1kmのコースを20周）や、ハーフの距離を走るマラソン大会で、本学は相互交流協定を結ぶ中京学院大学（同市・瑞浪市）と男女混合チームを組み、ハーフを力走しました。

大活躍したのは次のメンバーです（敬称略）。

「五街道ウォーク実行委員会」8名（★外国語学部3年＝関根涼、白石瑛、同2年＝大倉郁実、三浦エリカ、野原由紀子★経営学部3年＝沖歩美、鈴木祐平、同2年＝清水夏弥）★中京学院大学瑞浪キャンパスの学生と合同で2チーム。

「AnimeJapan実行委員会」5名（★経営学部2年＝塚本珠翠、永井愛美、白井丈偉、内山幸恵、同1年＝河本花音）★中京学院大学中津川キャンパスの学生と合同で1チーム。

また、次の教職員が学生たちを見守り、サポートしました（敬称略）。

★関川陽平（保健医療技術学部作業療法学科助手）★大岩義典（学習支援本郷グループマネジャー）★明下貴徳（学生支援グループ）★成海禎美（コンテンツ多言語知財化センターチーフ）

なお、次の学生が「広報担当」として活躍しました。★若林奈々（外国語学部3年）、齋藤美晴（同3年）



タスキをバトンタッチ



参加者一同笑顔で

大学 「BGUヘルスフォーラム」で学び深める

保健医療技術学部主催「第4回BGUヘルスフォーラム」が6月1日、本郷キャンパスで英語にて実施され、カナダのブロック大学で看護学を教えるドーン・プレントイス准教授が「インタープロフェッショナル・コラボレーション（多職種連携）が切り拓く明日の医療」を演題に基調講演を行いました。

看護学博士である同准教授は、30年以上、看護現場や大学での研究などに携わってきました。当日の講演では、まず「Interprofessional Collaboration (IPC) と Interprofessional Education (IPE) へのこれまでの取り組み」について「チームの重要性」「ブロック大学看護学科でのIPEの試み」「IPEの学術的定義」「多職種連携におけるコンピテンシー（高い業績・成果につながる行動特性）のフレームワーク（枠組み）」「学習活動を軸に説明。続いて、「IPEとIPCに関する現在の論点」について、最後に「IPEとIPCに関する今後の動向」について話しました。

だというのは神話か？」をタイトルに、「多職種連携は安全を担保するものではなく、それを促進・阻害する要因は何かについて研究で明らかになる可能性」について話しました。

最後に本学同学部看護学科の中村由美子教授をコーディネーターに、今回の演題について発表者が議論しました。

会場からは「多職種連携について学ぶタイミングは？」「チームで話しやすい雰囲気を作るには？」など次々と質問が上がり、プレントイス准教授はそれぞれ「早いほど良い」「清掃・事務担当者に至るまで、全ての関係者が患者に対して何が必要かの共通認識をもつこと」など丁寧に回答。会場のウィングホールを埋め尽くす保健医療技術学部生と教職員が熱心に耳を傾けました。

なお、同フォーラムは文京学院大学後援会の支援によって行われました。

白熱のディスカッション
（左から）藤谷教授、プレントイス准教授、松下教授、コーディネーターの中村教授



白熱のディスカッション
（左から）藤谷教授、プレントイス准教授、松下教授、コーディネーターの中村教授



保健医療技術学部3学科と人間学部2学科 就職率100%を達成!



坂本修一 ぶじみ野キャンパスキャリアセンター長

ぶじみ野キャンパスでは人間学部コミュニケーション社会学科が5年ぶりに、児童発達学科が5年連続、保健医療技術学部理学療法学科は9年連続、作業療法学科は6年連続で就職率100%を達成いたしました。

学科別就職先を見ますと、コミュニケーション社会学科、心理学科の主な就職先は一般企業で、地域と連携したワークショップを通じて身につけた課題解決力、プレゼン力、実験データの解析で培った分析力、論理的思考力を活かして幅広い業界に実績があります。両学科合わせて54・3%が上場・上場関連企業へ就職しました。児童発達学科の主な就職先は保育所、幼稚園、小学校ですが、今年度は就職者の27%が公立保育士・幼稚園教諭として、また、16%が公立小学校教諭等として就職しました。公務員試験対策講座

も実施し、多くの学生が熱心に取り組んでいます。人間福祉学部は施設や病院が主な就職先で、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、保育士等の資格を活かして就職しています。保健医療技術学部は、それぞれ理学療法士、作業療法士として大学病院、一般・医療関連企業に就職しています。総合病院、診療所、施設、医療関連企業に就職しています。これまで継続してきた①3年次より始まる学科別職員担当制による個別面談のキャリアアポイントメントコースでは、一年次より開始される正課のインターンシップ科目が大きな特徴となっています。また、学生団体であるキャリアアライダー委員会では低学年より企業との機会も設け、早期に将来をイメージすることができ

「ここ数年の就職環境は好調と言われていますが、企業規模、業界、職種によっては厳しい状況も出てきています。今年度も学生一人ひとりの特性を見極めながら寄り添い、サポートしていきます。また、就活ルールの撤廃を受けて、低学年から将来をイメージし充実した大学生活が実現できるよう、キャリア支援の強化にも取り組んでまいります。」

外国語学部に関しては航空関係、ホテル関係、商社等語学を要する業界や、メーカー、金融など幅広い分野に就職が決定しました。経営学部は、ビジネス実践型授業の成果を活かし幅広い業界、職種に決定しています。コンテンツ・マーケティング（現マーケティング・デザイン）専攻の学生は専門分野を活かしてデザイン、広告関係の企業にも実績を重ねています。保健医療技術学部臨床検査学科は大学院に進学する学生が1割強いるほかは、就職希望者のほぼ全員が専門職に就職を決定しています。今年2期生を送り出した看護学科は順調に就職活動を進め、11月には大学病院を中心に1期生に続き就職希望者全員が内定を得ました。

今年度も学生一人ひとりの特性を見極めながら寄り添い、サポートしていきます。また、就活ルールの撤廃を受けて、低学年から将来をイメージし充実した大学生活が実現できるよう、キャリア支援の強化にも取り組んでまいります。」



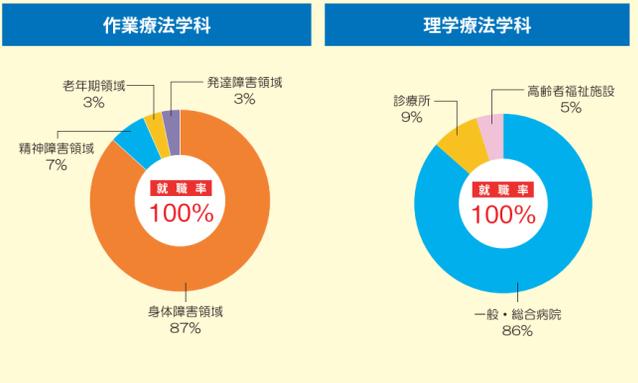
吉村都夫 本郷キャンパスキャリアセンター長

本学教員の手厚いサポートを受けた平成31年3月の卒業生たちが、社会人として巣立って行きました。

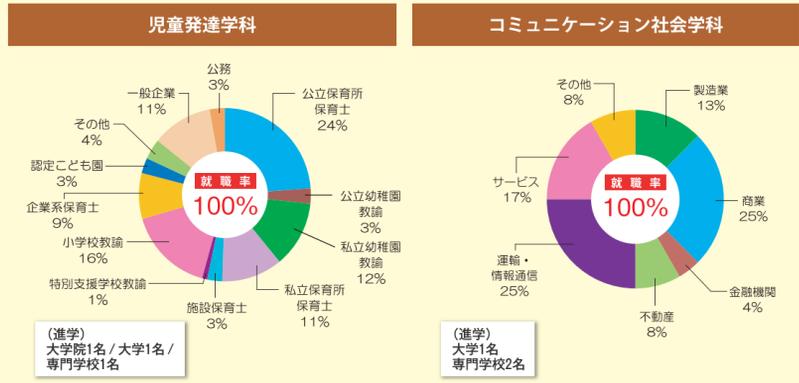
文部科学省・厚生労働省の共同調査により平成31年4月1日現在の全国大学卒業生就職率は97.6%でした。それに対して本学は、98.6%と、高い実績を上げました。これらの結果について、両キャリアセンター長は次のように分析しています。

各学部卒業生就職先 業界別割合 平成31年3月卒業生就職率（本学全体） **98.6%** (全国平均97.6%)

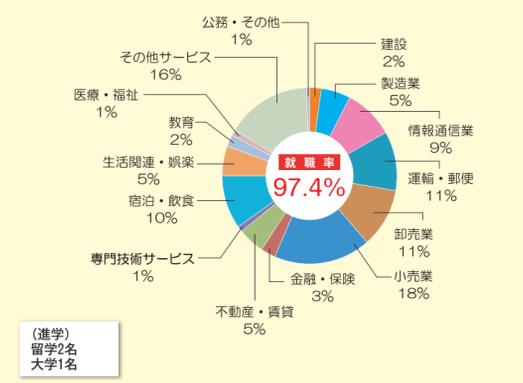
保健医療技術学部



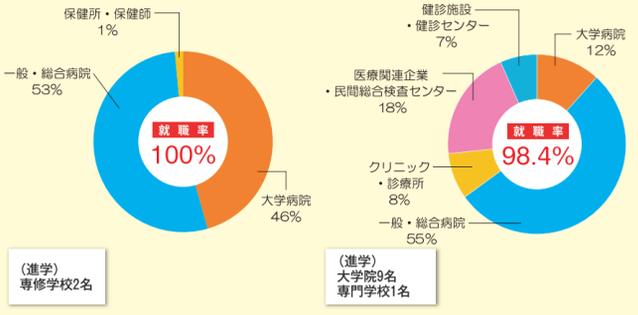
人間学部



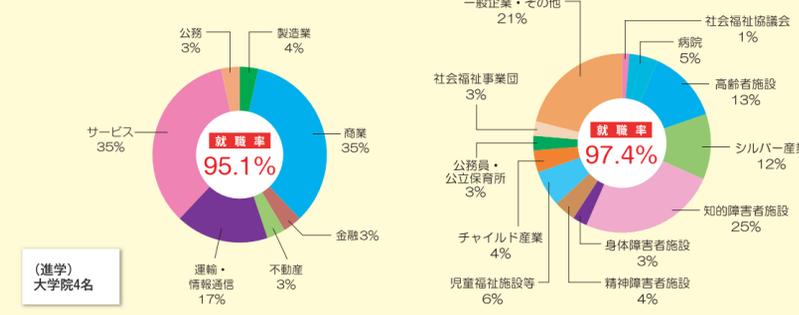
外国語学部



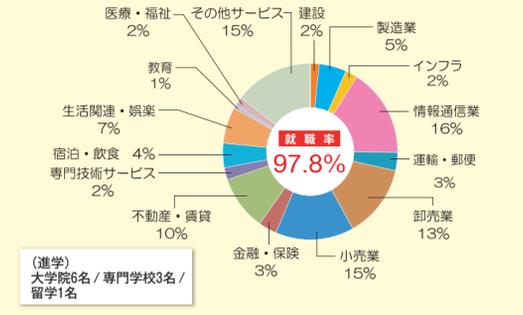
臨床検査学科



人間福祉学科



経営学部



中高 「体育祭」バワフルに

中高体育祭が5月27日、武蔵野の森総合スポーツプラザ（調布市）で行われました。

優勝旗返還後、水上茂中高一貫部校長からエールが高一貫部校長からエールが贈られ、後援会厚生の部が本質世副会長が挨拶。体育祭実行委員長の市川古直喜さん（高3梅）が生徒宣誓し、待ちに待った競技がスタート!

午前中は、全学年による「50m走」を皮切りに、パラスポーツに乗って飛び上がりながら速さを競う「ハラソボ・ホーククワイ」や、生徒の背中を橋代わりになる「一矢の渡し」など9種目が行われました。

その一つ、中3全員による集団演技「本郷」では、ピンクのリボンを華麗に舞い踊らせる美しさに、会場から大きな歓声と拍手が沸き起こりました。全員がヒートアップしたのは「クラス対抗リレー決勝」と、高校スポート科学クラスの生徒による「クラス対抗リレー」。生徒の持っている力全開の走りど健差のレースに、会場は大歓声に包まれました。

今年、中3・高3のグリーンブロックが優勝! 高石和人中高一貫部副校長が点数を発表する度に、生徒たちは跳び上がりながら歓喜の声を上げました。清水直樹高等部校長と、水上中高一貫部校長から優勝旗を渡された中3・高3の代表生徒は、溢れる笑顔で優勝旗を高々と上げました。

清水高等部校長の講評後、雨宮正典高等部副校長が閉会の言葉を述べ、生徒・体育祭実行委員、教員らが一丸となって作り上げた体育祭が終了しました。

以下、結果です。

プロレス対決
★レッドブロック（中1・高1）2・15点
★ブルーブロック（中2・高2）4・36点
★グリーンブロック（中3・高3）6・55点

各学年優勝
★高校：1位 1杉・2桃・3菊
★中1：1杉・2桃・3菊
★中2：1梅・2桜・3梅
★中3：1藤・2藤・3楓

